

● D51 形蒸気機関車一般公開

宮浦公園に保存されている機関車が公開され、訪れた子どもたちは初めて見る機関車の大きさや運転室からの眺めに興味津々の様子でした。



●千代田防犯パトロール隊 総会

活動報告などが行われ、防犯パトロールが開始された令和2年度は、主な犯罪が前年度から25件減少したことが報告されました。



みんなのひろば

●春の芸術祭・華道展

名古屋文理大学文化フォーラム（市民会館）で行われ、鳴子踊りや箏曲など、日頃の練習の成果を発表しました。



▲会場では、1729年に徳川吉宗へ献上された象が美濃路稲葉宿を通ったことにちなみ作成された「御宿印」作りの体験会も行われました

消費生活センター
からのお知らせ
市役所商工観光課

トラブルを未然に防ごう

事例

格安スマホをネットで契約したが、分からないことがあった。実店舗がないのでサポートの電話窓口は何度も問い合わせたが、話し中でつながらない。



アドバイス

- ・故障時、代替機の貸し出しが有料であるなど、大手のスマホ会社とはサービスが異なる場合があります。契約前にサービス内容をよく確認しましょう
- ・端末の用意やスマホの設定などを自分で行う場合が多いので、利用に必要なことを調べておきましょう
- ・電話での問い合わせがつかない場合があります。契約前に問い合わせ方法をよく確認しましょう

トラブルに遭ったり、不安や疑問に思ったりした場合は早めに消費生活相談窓口にご相談ください。

市役所消費生活センター ☎0587(32)2594
受け付け 月～金曜日 ※祝休日を除く
午前10時～正午・午後1時～3時

警察署からのお知らせ
稲沢警察署 ☎0587(32)0110

外国人を雇用する事業主の皆さんへ
不法就労・不法滞在防止にご協力を！

就労が認められていない外国人が就労した場合、不法就労した外国人だけでなく、不法就労をさせた事業主も処罰の対象となります。事業主の皆さんは外国人を雇用する場合、在留カードなどで在留期間や在留資格を必ず確認し、不法就労に当たる外国人を雇い入れないようにお願いします。また、不法滞在は犯罪の温床となりますので、不法滞在者を発見した時は稲沢警察署や名古屋出入国在留管理局（☎052(559)2150）へ通報してください。



ケーブルテレビの稲沢市広報番組
いなざわふれあい通信

市の施設や計画、行事、祭り・イベントなどを映像でお伝えする市政広報番組「いなざわふれあい通信」を、稲沢CATV（TOP TOWER）と西尾張CATV（クローバーTV）で放送しています。

- ◆6月1日～15日の放送内容
「大塚性海寺歴史公園のアジサイ」
 - ◆6月16日～30日の放送内容
「フレイル予防について」
- ※新型コロナウイルスワクチン接種についても紹介しています
- 放送開始時間（10分番組）
稲沢CATV…6:50、9:50、10:50、11:50
14:50、17:50、20:50、21:50
西尾張CATV…8:45、14:15、17:45、20:45

▷番組のDVDを市役所秘書広報課、支所、中央・祖父江の森・平和町図書館で貸し出しています
▷放送期間中の内容は、市ホームページからも、視聴できます



俳句 安田一子 選

- 【特選】
紫陽花の青際立ちて雨上がる（日下部北町）近藤とし江
梅雨明けや洗濯物の白光る（北島町）愛葉行徳
- 【入選】
強剪定今年も負けぬ額紫陽花（一色道上町）桜井 晃
紫陽花に道狭められ蟹歩き（奥田町）村瀬三重子
紫陽花の毬様々に覗く塀（駅前二丁目）山内敏子
紫陽花は色変え咲いてちりもせず（祖父江町本甲）森本泰子
巨船いま梅雨の港に近づけり（祖父江町江東）大野 桂子
梅雨晴や駅のベンチに傘一本（祖父江町山崎）光崎 倭子
ペランダに鼻歌聞こゆ梅雨晴間（平和町勝幡新田）矢野 泰正
梅雨寒の部屋の広さや一人居て（北島町）内笹井幸子

●募集します（俳句）▶兼題（8月号）海、シャツ▶締切日 6月15日（火）▶応募方法 住所・氏名を記入の上、市役所秘書広報課（〒492-8269 稲沢市稲府町1）へ ※兼題1つに2句まで。FAX（0587(23)1489）、Eメール（haiku@city.inazawa.aichi.jp）でも受け付けます

笑顔で話そう



辻本嘉志子さん
（国府宮一丁目在住）

●選ばれてびっくり！
私は市内を中心に二ユースポーツであるキンボールスポーツの普及活動を行っており、県内で初となるキンボールクラブ「稲沢KINBALLクラブ」を設立し、現在も代表を務めています。

またとない機会と思い聖火ランナーに応募しましたが、まさか自分が選ばれるとは思わず、応募したことは誰にも伝えていませんでした。幸運にもランナーに選出され、初めて家族に報告したところ、夫は「だまされているのでは…」となかなか信じてくれませんでした。

2020年3月に、岡崎市で走ることが決まり、当日を楽しみにしていましたが、その後、聖火リレーが延期されることになってしまいました。スポーツ活動も自粛が広がり、聖火リレー自体が本当に開催されるの心配でしたが、週2回のフィットネスジムやランニングなど、本番に向けた体力づくりは以降も続けていました。



●感動の聖火リレー
迎えたりりー当日は緊張で食事がのどを通らないほどでしたが、家族に励まされながら岡崎市に向かいました。

本番では、遠くからのランナーが運ぶ聖火がだんだんと近づいてくる光景に感動したことを覚えています。トーチの重さや聖火の温もり、おいを感じながら走り、次のランナーへ無事に聖火をつなぐことができてほっとしました。走行中は多くの方に応援していただき、人生観が変わるほどの貴重な経験となりました。

●聖火をつなぐる人と希望
当日出会ったランナーの方とは今でも連絡を取り合うほか、長年会う機会がなかった友人や、中学時代の恩師から数十年前ぶりに連絡が来るなど、聖火リレーをきっかけに人との出会いやつながりを強く感じることでできました。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大が続いていますが、安全に東京2020オリンピックが開催され、これまで通りスポーツを通して、人と人の絆を深めることが出来る日常に戻ることを祈っています。

さまざま分野で活躍する皆さんにお話をさせていただく「笑顔で話そう」。今回は、東京2020オリンピック聖火リレーランナーを務めた辻本嘉志子さんです。